

# 御油のマツ並木

- 所在地／豊川市御油町地内
- 規模／長さ0.56km 樹齢400年
- 指定／国指定天然記念物
- 問合せ／豊川市教育委員会生涯学習課文化財係 電話 0533-93-0153

愛知県



## 立地環境

御油のマツ並木は、並木の植わっている土手が良く残り、旧東海道の並木景観が現在でも保全されています。

## 松原の今昔物語

### 弥次さん、喜多さんが狐に化かされたことで有名な御油のマツ並木

十返舎一九の『東海道中膝栗毛』で狐騒動の舞台として描かれる御油のマツ並木。旧東海道の中で唯一、国の天然記念物に指定されています。ゆるやかな曲線をえがく道と、その両側の土手の上に立ち並ぶ松の古木が江戸時代の街道風情を今日に伝え、休日ともなるとハイカーなどで賑わいます。

地元の御油松並木愛護会をはじめ、官民一体となった保護活動が展開され、土手の草刈りをはじめ、防虫消毒や補植、最近では古木の樹勢回復事業などが行われた結果、現在でも往時の並木景観が維持されています。しかし、並木敷は県道で交通量も多く、アスファルト舗装が松の生育に悪影響を与えていることから、将来的な遊歩道化や、隣接地域における並木の生育環境の保全が課題となっています。

## COLUMN

御油のマツ並木を構成するマツは全てクロマツで、この地方では「三河黒松」の名で親しまれています。御油のマツ並木は旧東海道の御油宿と赤坂宿の間にあることから、並木を抜けると両宿場の風情を残す建物が今でも見られます。並木から500mほど西に進めば旧赤坂宿の旅籠「大橋屋」（音羽町指定文化財）があり、また並木から500mほど東に進めば「御油松並木資料館」があり、御油宿に関する資料や町並復元模型などを見学することができます。

## ACCESS

- 電車やバスの場合  
名鉄名古屋本線御油駅下車徒歩15分、同名電赤坂駅下車徒歩約15分
- 車の場合  
東名高速道路「音羽蒲郡」I.C.から国道1号線経由5～10分  
駐車場有り（松並木南東側の並木橋付近）

